

## 「2025年度キリングroupプロジスティクス大賞」発表会を開催 ～業務改善や新たな取り組みにおいて高い成果をあげた 11 案件が受賞～

キリングroupプロジスティクス株式会社（代表取締役社長 小林信弥）は、2026年3月19日（木）、キリングroup本社（東京都中野区）において、「2025年度キリングgroupプロジスティクス大賞」発表会を開催しました。

「キリングgroupプロジスティクス大賞」（以下、ロジ大賞）は、社会的貢献度の高い取り組みをはじめ、創意工夫、業務改革、挑戦的な施策、安全・衛生の向上などの観点から、顕著な成果を上げた案件を表彰する制度です。発表会では、現場主導による改善活動や成果創出までのプロセスが紹介され、いずれも実効性の高い取り組みとして高く評価されました。当日は会場での開催に加えオンライン配信も行い、group内外の関係者が広く参加しました。本発表会を通じ、優れた取り組みの共有と称賛を通じて、group全体の価値向上と持続的成長に向けた意識の醸成を図りました。

### ■ 2025年度の表彰案件 グループの部 11 件

対象		表彰案件
1	本社・支社	輸配送完遂への取り組み (構内滞留削減、届け先待機削減、長距離輸送複線化)
2	九州支社	保管能力の向上 (構内滞留時間削減のための構内スペース活用の効率化)
3	東日本支社	海老名センター自動ピッキング導入と活用
4	本社	新ピッキングシステム導入による業務効率化の実現 (トラックドライバーの荷待ち待機時間削減・環境負荷軽減への寄与)
5	本社	入荷受付システム活用による構内滞留データの把握と分析ツール導入・活用
6	西日本支社	DX（業務効率化）による時間外労働削減
7	本社・支社	受注業務における業務エリアフリー導入
8	北海道支社	生成 AI や IT ツールを活用した札幌支店事務作業の業務効率改善
9	KLSK・九州支社	KLSK 収支改善 (課題抽出、打ち手の洗い出し、仮説検証の実施)
10	本社	シニア社員やりがい向上施策 (人事制度の改定と長期活躍できる環境の実現)
11	本社	流通加工品質改善の取り組み

### <発表会の様子>



### <発表会に出席した受賞者と社長・本社役員>



#### ■小林社長講評

今年のロジ大賞は発表内容の完成度が非常に高く、現場からの継続的な改善と変革への強い意志が随所に感じられました。成果を称え、学び合う企業文化の重要性をあらためて示すとともに、グループ横断の連携や新技術の活用を通じた価値向上への継続的な挑戦に期待します。あわせて、ロジ大賞受賞を目標に、日々の業務に主体的に取り組んでほしいと思います。

キリングroupロジスティクス株式会社は、サプライチェーン全体の高度化と安定供給を支えるとともに、新たな価値創造にも挑戦し続けます。変化の大きい市場環境の中でも、確かな品質と持続可能な物流基盤を築き、「物流」からも人々のココロとカラダの健康に貢献していきます。

#### 【本件お問い合わせ先】

キリングroupロジスティクス株式会社 経営企画部 経営企画担当（担当：伊與田）  
東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス Tel：03-6837-7010